



2012876H57301



形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

三菱小口径排気ファン【トイレ・洗面所・居室用】

- 形名
- V-05P3 (背面排気・電源プラグタイプ)
- V-05PD3-SW (背面排気・速結端子・本体入/切スイッチ付)
- V-05P3-S (ストレート排気・電源プラグタイプ)
- V-05PD3-S-SW (ストレート排気・速結端子・本体入/切スイッチ付)

取扱説明書

お客様用

- ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では据付けしないでください。(安全や機能が確保できません)
- 小口径排気ファンの据付けは、販売店・専門の工事が実施しております。据付け完了後、次の事項をお客様自身でも確認してください。
 - 製品が運転・停止するか。
 - 異常な音・振動がないか。
- 販売店が試運転を行う際、立会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店・専門の工務店から説明を受けてください。

この製品は日本国内用です。日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。 This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

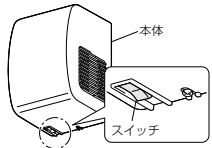
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。
- 本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	禁止	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	水ぬれ禁止	●本製品に直接水やお湯、かび取り等をかけない ショートや感電の原因。
	ぬれ手禁止	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電やけがの原因。
	警告	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇(電気器具その他)のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。
	ぬれ手禁止	●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火、感電、けがの原因。 (異常・故障例) 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。
	警告	●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。
	警告	●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く 火災の原因。
	警告	●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。
	禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によりけがの原因。
	禁止	●運転中は羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
	接触禁止	●お手入れの後の部品の据付けは確実に 落下によりけがの原因。
	ぬれ手禁止	●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないかけがの原因。
	警告	●長期間で使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
	警告	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く ショートによる発火・感電の原因。
	警告	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く ショートによる発火・感電の原因。

使用方法

スイッチで操作してください。

- V-05PD3-SW、V-05PD3-S-SWの場合、本体のスイッチで操作してください。
- V-05P3、V-05P3-Sの場合、壁スイッチで操作してください。



※図はV-05PD3-SWを示す。

お手入れのしかた

グリルにほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約4か月に1度を目安に清掃してください。

警告

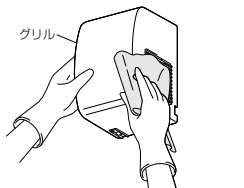
- お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る
感電やけがの原因。

注意

- お手入れの際は手袋を着用する
けがの原因。

清掃のしかた

グリルは台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないよう乾いた布でふいてください。



※図はV-05PD3-SWを示す。

お願い

- グリルは、はすさないでください。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。(台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください)
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
(異常音の発生、変質、変色や故障の原因になります)

修理を依頼する前に

- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても、安全のための診断をお願いします。4か月に1度の清掃の際、下記の点検を行ってください。工務店が実施する事項が発生した場合、事故防止のため分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または、工務店に点検修理をご依頼ください。

こんなとき	原因	対策
スイッチを入れても羽根が回転しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか 分電盤のブレーカーが切れていませんか 上記の処置をしても回らない場合	差し込みます 「入」にします 販売店または工務店へ連絡します
運転中に異常音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていますか グリルにほこり・異物が付着していませんか 上記の処置をしても直らない場合	据付け直します 締め付け直します 販売店または工務店へ連絡します
羽根が逆転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響にて発生する可能性があります 上記の処置をしても直らない場合は故障です 運転停止してください	無風状態を確認します 販売店または工務店へ連絡します
こげ臭いにおいがする	故障です運転停止してください	販売店または工務店へ連絡します

アフターサービス

■修理を依頼されるときは

- 修理料金は
技術料+部品代(出張料)などで構成されています。
●技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
●部品代…修理に使用した部品代金です。
●出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名 小口径排気ファン
2. 形名 V-05P○○○
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店が下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内 (住宅用換気送風機)

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

- お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や増設品などは)、**ご相談**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて

1. お問合せ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品の取扱いに関連してお客様より提供いただいた個人情報は、本部から①に製品品質、サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
②上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに委託する場合があります。
③法令の定める範囲で蓄積・電伝。
2. 上記利用目的のために、お問合せ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様にご了解いただいたり、場合によっては第三者へ個人情報を提供・開示することもあります。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

三菱電機 住宅用換気送風機技術相談センター

0120-726-471 (無料)

携帯電話・PHS対応
三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659 (有料)
〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

■ご相談対応
平日(土・日・祝及び弊社休日以外)
9:00~12:00
13:00~19:00

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

三菱電機修理受付センター

0120-56-8634 (無料)

携帯電話・PHSの場合
TEL 0570-01-8634 (有料)

www.melco.co.jp
2次元コードでも簡単にアクセスできます。

FAX 0570-03-8634 (有料)

※所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようおかけください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この小口径排気ファンの補修用性能部品を、製造打切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

形名	消費電力(W)		風量(m ³ /h)		騒音(dB)		質量(kg)
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
V-05P3							0.86
V-05PD3-SW	5.0	5.4	48	48	26	26	
V-05P3-S							
V-05PD3-S-SW	5.0	5.4	40	40	28	28	

※特性はJIS C 9603に基づき、風量、騒音はV-05P3、V-05PD3-SWがVU値φ75接続時、V-05P3-S、V-05PD3-S-SWがVU値φ50接続時の値

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

- 【本体への表示内容】
※経年劣化により危険の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。
- 【製造年】本体に西暦4ケタで表示してありませ
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

環境条件	電圧	周波数	湿度	設置条件	標準設置	自負条件	想定時間
	単相100V	50Hzおよび60Hz	20℃ 85%		JIS C 9603から引用	定額負荷	1年間の使用時間
					据付仕様による	換気時間 ^①	台所 2410時間/年 居室 2193時間/年 トイレ 2614時間/年 浴室 1671時間/年

※設計上の標準使用期間とは、
※製造時や製造後など、標準的な使用条件(左表による)に基づき経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を起算期間として算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものではありません。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や取扱いに伴い生ずる劣化をいいます。

注① 24時間換気の場合は、8760時間/年とする。

愛情点検 ☆長年ご使用の換気扇の点検を!

	ご使用の際このようなお知らせはありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。(モーターはメンテナンスが必要な部品です) ●こげ臭いにおいがする。 ●本体据付部に腐食、破損等がある。 	使用中止 故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。
--	------------------------	---	--

お客様メモ	形名	年	月	日
お買上げ年月日	お買上げ店名(住所)	()	()	()
お買上げ店名(電話番号)	()	()	()	()

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。材質名は主材料にISO規定の略号を使用。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

三菱小口径排気ファン【トイレ・洗面所・居室用】

- 形名
V-05P₃ (背面排気・電源プラグタイプ)
V-05PD₃-SW (背面排気・速結端子・本体入/切スイッチ付)
V-05P₃-S (ストレート排気・電源プラグタイプ)
V-05PD₃-S-SW (ストレート排気・速結端子・本体入/切スイッチ付)

据付説明書

販売店・工事店様用



形名表示位置
 形名によって取扱いが異なるため、予めご使用の形名をご確認ください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

- 電気工事は電気工事の方が実施してください。
- この製品はトイレ・洗面所・居室に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因になります。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材(ウェザーカーバーなど)を据付けてください。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。(V-05PD₃-SW、V-05PD₃-S-SWは本体入/切スイッチ付きです)

形名	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-05P ₃	電源プラグ	塩化ビニル管 VP、VU	ホネジ 3本
V-05PD ₃ -SW	速結端子	厚径50、65、75mm	ホネジ 3本
V-05P ₃ -S	電源プラグ	塩化ビニル管 VP、VU	ホネジ 3本
V-05PD ₃ -S-SW	速結端子	厚径50mm	クッション 1本

- お願い**
- 高温(40℃以上)になると据付けないでください。(故障の原因になります)
 - アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
 - システム部材(ウェザーカーバーなど)は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により据付けられないものがあります)
 - 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
 - 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。
- 本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。



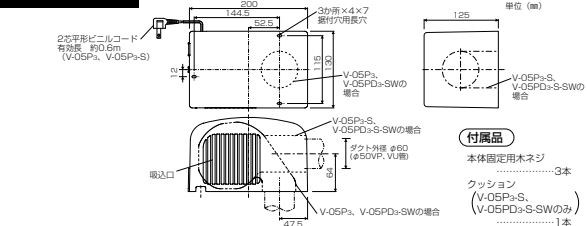
警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があります

- 製品を水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電の原因。
- 改造や必要以上の分解はしない。火災・感電・けがの原因。修理はお買上げの販売店または「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。
- メタルスズリ、ワイヤスズリ、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合は、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤスズリ、金属板とが、電気的に接触しないよう据付け漏電・発火の原因。
- 交流100Vを使用する。火災・感電の原因。

注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

- 高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。火災の原因。
- 浴室など湿気の多いところには据付けない。感電・故障の原因。
- 電気工事は必ず電気工事店に依頼する。感電・火災の原因。
- 据付けの際は必ず手袋を着用する。通用しないけがの原因。
- 部品の据付けは確実に行う。落下によるけがの原因。
- 本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う。落下によるけがの原因。
- 電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
- 据付け後、長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因。

外形寸法図



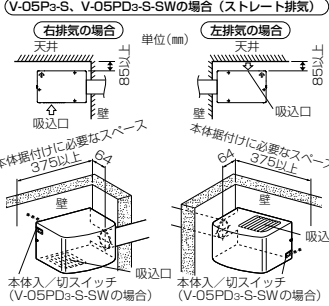
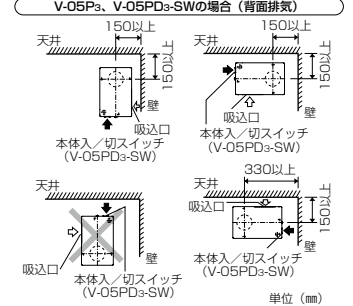
据付方法

1. 据付前の準備

壁据付けの場合

壁穴へのパイプの固定

- 据付け場所を決めて穴をあける
 - 同梱の型紙のご使用をおすすめします。(V-05P₃、V-05PD₃-SW)
 - 壁厚に応じたパイプの長さを決めてください。
 - 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。



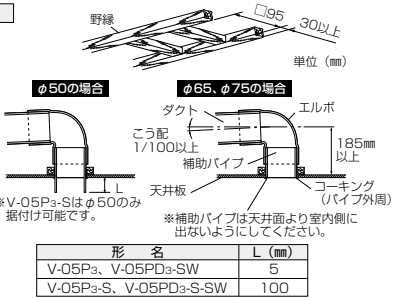
- 壁穴にパイプを確実に固定する。パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
 - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
 - 室内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込みます。(φ65、φ75の場合)

- お願い**
- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこ配をつけ、固定してください。

形名	L (mm)
V-05P ₃ 、V-05PD ₃ -SW	5
V-05P ₃ -S、V-05PD ₃ -S-SW	100

天井据付けの場合

- 右図のように野縁組立をし、ダクト配管をする。
- ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。
- エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。



- お願い**
- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。
 - 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。

2. 電気工事

警告

- 交流100Vを使用する。直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。

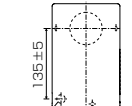
注意

- 電気工事は電気工事の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する。感電の原因。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて接続してください。
- 内線規程に基づくコンセントを屋内の換気扇の近くに設ける。

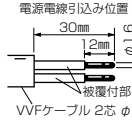
V-05PD₃-SW、V-05PD₃-S-SWの場合

- 電源電線を室内に300mm引き込む
 - 引き込む位置は右図を参照してください。
 - 電源電線はVVVF 2芯 φ1.6をご使用ください。



V-05P₃ (S)の場合

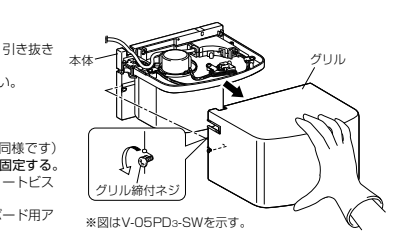
- 電源電線の先端を右図寸法に合わせて皮むきする
 - 端子部へのほこり侵入を防ぐため、皮むき寸法を必ず守ってください。



3. 本体の据付け (壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです)

1. グリルをはずす

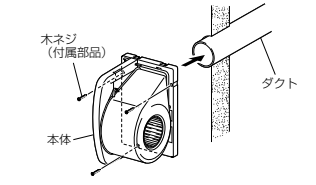
- ネジをゆるめてグリルを本体からはずす。
- 製品本体を保持し、右図グリル中心付近を持ち、引き抜きます。その際、排気口内部の羽根に触れないでください。(羽根折し、異常音の原因となります)



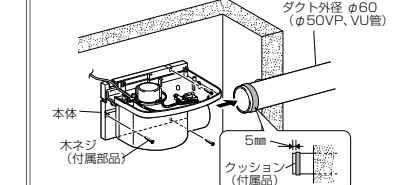
2. 本体の据付け

- (図は壁据付けをあらわしています。天井据付けも同様です) 本体をパイプに差し込み、付属のホネジ(3本)で固定する。
- 据付面がコンクリートの場合は、市販のコンクリートビスを使用して固定してください。
- ごうボードに据付けの場合は、市販のごうボード用アンカーを必ず使用してください。

V-05P₃、V-05PD₃-Sの場合

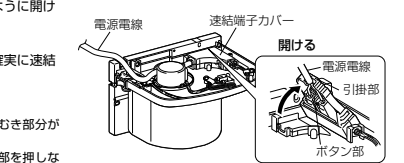


V-05P₃-S、V-05PD₃-S-SWの場合



3. 結線 (V-05PD₃-SW、V-05PD₃-S-SWの場合)

- 速結端子カバーの引掛部に手を掛け、右図のように開ける。
- 電源電線を速結端子に差し込む。
- 速結端子が差し込まれていることを確認し、確実に速結端子カバーを元通り閉じる。

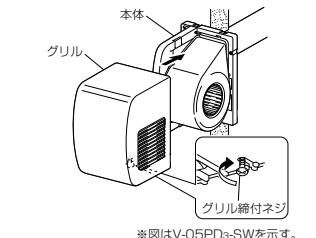


- お願い**
- 電源電線は確実に速結端子に差し込みます。皮むき部分が端子よりはみ出ないようにしてください。
 - 電源電線を速結端子よりはみ出す場合は、ボタン部を押しながら電源電線を引き抜いてください。

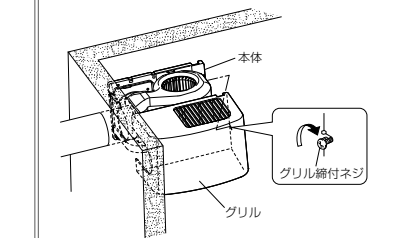
4. グリルの据付け

- (図は壁据付けをあらわしています。天井据付けも同様です。)
- グリルを本体に据付ける。
 - グリルの方向を間違えないようにして本体にはめ込み、ネジを締め付け固定します。
 - 電源プラグタイプは電線をかみ込まないようにグリルの切り欠き部から引き出します。
 - ネジ穴が破損する原因となりますので、ネジを締めすぎないようにしてください。
- 電源プラグタイプは電源プラグを専用コンセント(電圧100V)に差し込みます。
- 以上の設置が終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

V-05P₃、V-05PD₃-Sの場合



V-05P₃-S、V-05PD₃-S-SWの場合



5. 試運転

- お密着し合いで試運転を行ってください。**
- 製品が運転・停止するかを確認してください。(製品にスイッチを備えている機種は「入・切」の状態を確認してください)
 - 異常な音・振動などがなければ確認してください。